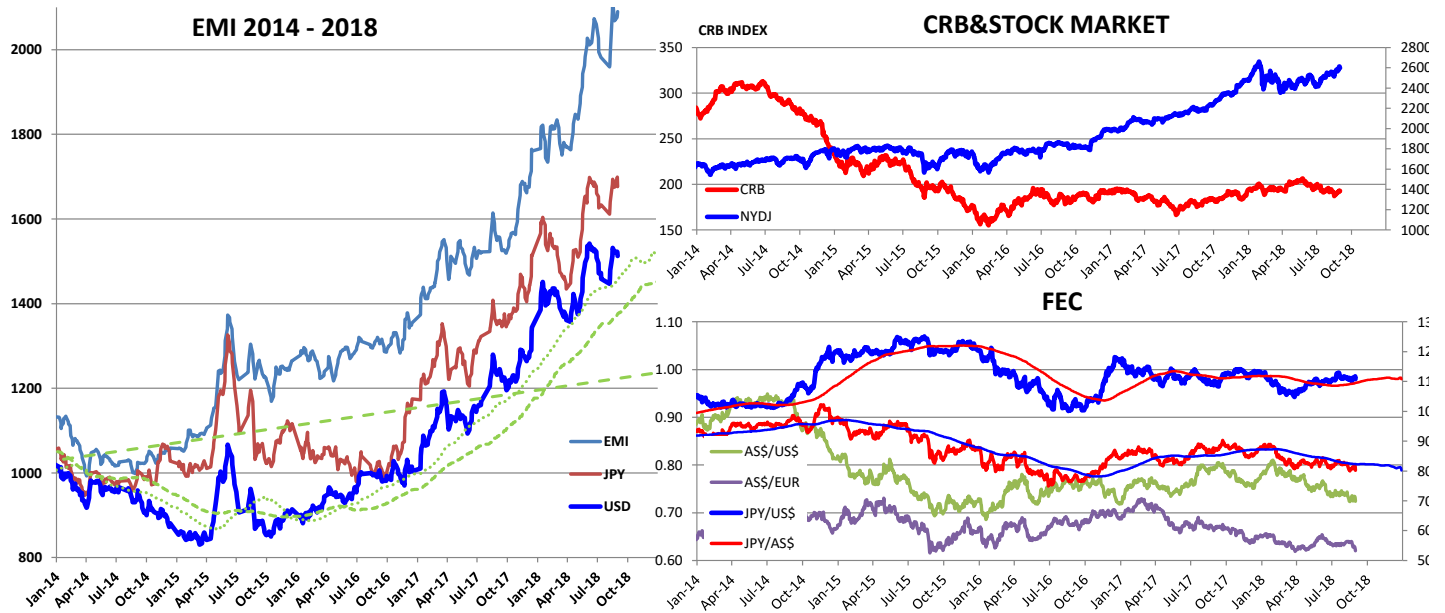


**SALE WEEK 09**



**COMMENTS**

The first of the designated superfine sales was held in Sydney this week. Some clips that we wouldn't normally see this early in the season were offered. Competition on the best clips, good performing types that are well prepared remains very strong. While Italian interests are dominating this sector, competition from other origins is strong. Of particular note is competition on non mulesed (NM) wool with more and more buyers now competing for NM certified production batches. Overall another steady tone over the general market despite the high market level. All types and descriptions closed dearer for the week.

The Melbourne sale on Thursday was rescheduled for Friday after a nearby factory fire stopped access to the Victorian Wool Centre. The industry reacted well to this inconvenience with the unusual Friday sale proceeding without incident.

We are now moving into the main period of supply yet only 37,000/38,000 bales on average are being offered weekly. It's difficult to see any significant change in local prices. While it's still early in the season and some might be cautious to buy, a few large indent order buyers always seem willing to step into the market each time prices show an inclination to fall and therefore stopping any significant downward movement.

今週の羊毛市場は、週中にメルボルン近郊の火災によりセール開催日が1日延期されたため、オークションは水～金曜日の変則3日開催となった。

今週シドニーでは今シーズン最初のスーパーファインセールが開催され、18.5ミクロン以上の細番手のベストスタイル&スベックタイプはイタリア勢が主導し週を通じて上昇基調を強めた。特に今シーズンはNSW州の大旱魃の影響でヨーロッパ市場向けのスーパーファインウールの産地（NEW ENGLAND, NEW CATSLE, MUDGEE, GOULBURN, YASSといったエリア）も少なからずダメージを受けており、相対的にスタイルが低下気味との懸念が漂っている事も、例年以上に早い段階での競合激化を促しているとの見方もあり。また短サイクル刈り取りのトレンドはこうしたスーパーファインウールの生産者の間でもジワジワと広がっており、その結果特に細番手織物用のグッドスベックな細番梳毛原料の希少性がここ最近益々高まっているとの指摘も聞こえている。

中番手メリノに関しては、ここ数年再三指摘されているようにサプライチェーン上のフロート原毛在庫の枯渇を背景に、メーカー勢によるインデント（委託）買付の比重が高まっており、こうした平均買値スタンスの買付オーダーが結果的に相場の大掛かりな下落を防ぐ役割を果たしている部分もありそう。また特に今シーズンに関しては出荷量が前年同時期比で10%以上もマイナスとなっており、こうした供給サイドの事情も含めて、一般的にはオフシーズンモードとなる8月末のこのタイミングにおいても、昨年との比較でも調整相場は今のところかなり限定されたものに抑えられているのが実態。

更にメリノ高騰の余波で代替原料としてのニーズが高まっているカムバックやファインクロスブレッドと呼ばれる2.3～2.7ミクロンの細番手の雑種羊毛も引き続きレコードプライス圏で推移している。あと紡毛タイプについても細番手が牽引役となり、基本的に閑散期にも拘らず（ラムや襦モノが出てくるのは11月以降）相場が緩む気配はまだ殆ど見受けられない。また並行して為替市場では週中から豪ドルが再び下落基調を強めており、これもまたインデントバイヤーの背中を後押ししているという構図。豪州羊毛の最大消費国（7割以上）である中国方面においても、需給バランスの見地（但しその多くは機械需要）から当面羊毛相場は下がらないとの見方が優勢で、従って中国勢の多くがこのところ為替変動によるコストアドバンテージにもかなり敏感に反応している印象。ただ一方で米中の緊張関係の長期化懸念からくる中国国内の景気不安や人民元相場に関する思惑も絡んでくるため、目下の中国市場の動向に関してはかなり見通しが効きづらい状況といえる。現在の一方的な羊毛相場上昇に対する漠然とした不安感の根っこは恐らくそのあたりにある。

来週からは9月相場がスタート。例年これから10月頭の中国国慶節休みまでの間が羊毛相場が1年を通じて最も緩みややすい時期に当たる。この時期は中国勢以外の買い手にとっては所謂「買い場」にあたるわけだが、然しながら羊毛相場がこのまま高止まりを続ける（所謂EMI2000セント越えのレベル）ことになれば、たいして買い場を実感できないままにピークシーズン入りという事態もあり得るかもしれない。差し当っては貧弱な出市状況と相談しながら地道に必要な数量確保を続けるのが無難。

**MICRON INDEX**

- ～18.5mic      ベタータイプ堅調。USDベース：横ばい
- 19.5mic      堅調：USDベース：横ばい
- 20.5mic      堅調：USDベース：横ばい
- 22.0-23mic   堅調：USDベース：横ばい
- 24.5mic      堅調：USDベース：横ばい
- XBD's        堅調：USDベース：横ばい
- CARDINGS    上昇・USDベース：△1～2%

**MAIN BUYERS/BALES**

TECH-	4,464	STEC-	3,336	FOX-	2,870
TYN-	2,736	KTEX-	2,679	LEMP-	1,987
MOD-	1,893	PJM-	1,771	AME-	1,396
GSA-	849				

**NEXT SALES**

**Week 10 (5-6/Sep)**

SYDNEY	10,707	BALES	
MELBOURNE	21,466	BALES	(350bs Ex.NZM)
FREMANTLE	6,735	BALES	
<b>TOTAL</b>	<b>38,908</b>	<b>BALES TO BE OFFERED</b>	

<Motohiro Sydney Office>

**MICRON INDEX 2014-2018**

